

認定第 号

平成26年度

大津町工業用水道事業会計決算書

## 目 次

平成26年度 大津町工業用水道事業会計決算報告書（消費税込）	1
平成26年度 大津町工業用水道事業会計損益計算書（消費税抜）	5
平成26年度 大津町工業用水道事業会計剰余金計算書（消費税抜）	7
平成26年度 大津町工業用水道事業会計剰余金処分計算書（案）（消費税抜）	8
平成26年度 大津町工業用水道事業会計貸借対照表（消費税抜）	9
平成26年度 大津町工業用水道事業報告書（契約：込・損益：抜）	11
平成26年度 大津町工業用水道事業会計キャッシュ・フロー計算書（消費税抜）	13
平成26年度 大津町工業用水道事業会計収益費用明細書（消費税抜）	15
固 定 資 産 明 細 書（消費税抜）	17
企 業 債 明 細 書（消費税抜）	17
注	19

平成26年度 大津町工業用 水道事業会計決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入 (単位 円)

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項 の規定による支出額に係る 財源充当額	合 計			
第1款 工業用水道事業収益	62,678,000	32,051,000	0	94,729,000	96,118,377	1,389,377	
第1項 営業収益	61,427,000	8,179,000	0	69,606,000	70,814,555	1,208,555	(うち仮受消費税 5,111,975円)
第2項 営業外収益	1,251,000	0	0	1,251,000	1,431,136	180,136	
第3項 特別利益	0	23,872,000	0	23,872,000	23,872,686	686	

支 出 (単位 円)

区 分	予 算 額								決 算 額	地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越額	不 用 額	備 考
	当 初 予算額	補 正 予算額	予備費 支出額	流 用 増減額	地方公営企業法 第24条第3項の 規定による支出額	小 計	地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越額	合 計				
第1款 工業用水道事業費	82,322,000	727,000	0	0	0	83,049,000	0	83,049,000	74,329,512	0	8,719,488	
第1項 営業費用	53,457,000	754,000	0	0	0	54,211,000	0	54,211,000	47,886,605	0	6,324,395	(うち仮払消費税 2,003,629円)
第2項 営業外費用	4,233,000	0	0	0	0	4,233,000	0	4,233,000	3,839,803	0	393,197	
第3項 特別損失	22,632,000	△ 27,000	0	0	0	22,605,000	0	22,605,000	22,603,104	0	1,896	
第4項 予備費	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000	0	0	2,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収 入  
該 当 事 項 な し

支 出 (単位 円)

区 分	予 算 額							決算額	翌年度繰越額			不用額	備 考
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 繰次繰越額	合 計		地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額	継続費 繰時繰越額	合 計		
第1款 資本的支出	4,157,000	0	0	4,157,000	0	0	4,157,000	4,156,872	0	0	0	128	
第1項 建設改良費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第2項 企業債償還金	4,157,000	0	0	4,157,000	0	0	4,157,000	4,156,872	0	0	0	128	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額4,156,872円は、減債積立金4,156,872円で補填した。

平成26年度 大津町工業用水道事業会計損益計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	65,702,580	65,702,580	
2 営業費用			
(1) 原水費	25,165,311		
(2) 総係費	9,871,790		
(3) 減価償却費	10,845,875	45,882,976	
営業利益			19,819,604
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	45,458		
(2) 長期前受金戻入	1,234,478		
(3) 雑収益	151,546	1,431,482	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	731,803	731,803	699,679
経常利益			20,519,283
5 特別利益			
(1) 長期前受金戻入	12,495,586		
(2) 過年度損益修正益	11,377,100	23,872,686	
6 特別損失			
(1) 減損損失	21,950,354		
(2) その他特別損失	652,750	22,603,104	1,269,582
当年度純利益			21,788,865
前年度繰越利益剰余金			84,274,031
その他未処分利益剰余金変動額			28,923,383
当年度未処分利益剰余金			134,986,279

平成26年度 大津町工業用水道事業会計剰余金計算書  
 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位 円)

	資本金	剰余金						資本合計
		資本剰余金		利益剰余金				
		国庫補助金	資本剰余金合計	減債積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
前年度末残高	197,261,453	180,883,735	180,883,735	1,300	22,190,220	88,431,031	110,622,551	488,767,739
前年度処分額				4,157,000		△ 4,157,000	0	0
議会の議決による 処分額				4,157,000		△ 4,157,000	0	0
減債積立金の 積立				4,157,000		△ 4,157,000	0	0
処分後残高	197,261,453	180,883,735	180,883,735	4,158,300	22,190,220	(繰越利益剰余金) 84,274,031	110,622,551	488,767,739
当年度変動額	△ 16,213,180	△ 180,883,735	△ 180,883,735	△ 4,156,872	0	50,712,248	46,555,376	△ 150,541,539
企業債の負債への 振替	△ 16,213,180							△ 16,213,180
長期前受金への振替		△ 152,686,441	△ 152,686,441					△ 152,686,441
未処分利益剰余金変 動額への振替		△ 28,197,294	△ 28,197,294	△ 4,156,872		28,923,383	24,766,511	△ 3,430,783
当年度純利益						21,788,865	21,788,865	21,788,865
当年度末残高	181,048,273	0	0	1,428	22,190,220	(当年度未処分 利益剰余金) 134,986,279	157,177,927	338,226,200

平成26年度 大津町工業用水道事業会計剰余金処分計算書(案)  
 (平成27年3月31日)

(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	181,048,273	0	134,986,279
議会の議決による処分額	28,923,383		△ 32,182,383
組入資本金の積立	28,923,383		△ 28,923,383
減債積立金の積立			△ 3,259,000
処分後残高	209,971,656	0	(繰越利益剰余金) 102,803,896

平成26年度 大津町工業用  
(平成27年)

		資 産 の 部			
		円	円	円	円
1	固定資産				
(1)	有形固定資産				
	イ 土地		4,544,120		
	ロ 建物	17,071,478			
	建物減価償却累計額	<u>△ 6,453,924</u>	10,617,554		
	構築物	214,633,770			
	構築物減価償却累計額	<u>△ 118,291,896</u>	96,341,874		
	二 機械及び装置	173,186,897			
	機械及び装置減価償却累計額	<u>△ 119,981,566</u>	53,205,331		
	有形固定資産合計			<u>164,708,879</u>	
	固定資産合計				<u>164,708,879</u>
2	流動資産				
(1)	現金預金			<u>234,399,283</u>	
	流動資産合計				<u>234,399,283</u>
	資 産 合 計				<u><u>399,108,162</u></u>

水道事業会計貸借対照表  
3月31日)

		負 債 の 部			
		円	円	円	円
3	固定負債				
(1)	企業債				
	イ 建設改良費等の財源に充てる企業債		8,797,413		
(2)	引当金				
	イ 修繕引当金		<u>6,187,669</u>		
	固定負債合計				<u>14,985,082</u>
4	流動負債				
(1)	企業債				
	イ 建設改良費等の財源に充てる企業債		3,258,895		
(2)	未払金		4,788,173		
(3)	預り金		2,000,000		
(4)	引当金				
	イ 賞与引当金		581,013		
	ロ 法定福利費引当金		<u>105,304</u>		
	流動負債合計				<u>10,733,385</u>
5	繰延収益				
(1)	長期前受金		136,394,764		
(2)	長期前受金収益化累計額		<u>△ 101,231,269</u>		
	繰延収益合計				<u>35,163,495</u>
	負 債 合 計				<u>60,881,962</u>
6	資本金				181,048,273
7	剰余金				
(1)	利益剰余金				
	イ 減債積立金	1,428			
	ロ 建設改良積立金	22,190,220			
	ハ 当年度未処分利益剰余金	<u>134,986,279</u>			
	利益剰余金合計			<u>157,177,927</u>	
	剰余金合計				<u>157,177,927</u>
	資 本 合 計				<u>338,226,200</u>
	負 債 資 本 合 計				<u><u>399,108,162</u></u>

資 本 の 部

平成26年度 大津町

1.概況

(1) 総括事項

平成26年度は、3ヶ所の水源をもって日量4,000立方メートルの給水体制で、工業用水道の需要において9事業所に日量3,720立方メートルの契約(年度末現在)に基づき給水を行ないました。財務状況としましては、事業収益が91,007千円に対し、事業費は69,218千円となっています。

事業内容についての条項的説明は、次のとおりです。

(2) 議会議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案第44号	平成26年度 大津町工業用水道事業会計補正予算(第1号)について	平成26年6月13日	平成26年6月20日
認定第8号	平成25年度 大津町工業用水道事業会計決算の認定について	平成26年9月9日	平成26年9月22日
議案第60号	平成26年度 大津町工業用水道事業会計補正予算(第2号)について	平成26年9月9日	平成26年9月22日
議案第67号	平成26年度 大津町工業用水道事業会計補正予算(第3号)について	平成26年12月5日	平成26年12月5日
議案第8号	平成26年度 大津町工業用水道事業会計補正予算(第4号)について	平成27年3月6日	平成27年3月9日
議案第41号	平成27年度 大津町工業用水道事業会計予算について	平成27年3月6日	平成27年3月20日

(3) 職員に関する事項

異動状況 区分	平成26年4月1日 現在職員数	本年度中に転入又は、 採用した職員	本年度中に転出又は、 退職した職員	平成27年3月31日 現在職員数
職員	5人(兼務4人)	—	—	5人(兼務4人)
計	5人(兼務4人)	—	—	5人(兼務4人)

2. 工事等

(1) 建設工事の概要

該当事項なし

工業用水道事業報告書

3.業務

(1) 業務量

区分	本年度	前年度	比較	
			増減	比率
年度末給水事業所数	9事業所	9事業所		
年度末契約水量	3,720立方メートル/日	3,560立方メートル/日	160立方メートル/日	104.5%
年間給水量	1,295,013立方メートル	1,270,440立方メートル	24,573立方メートル	101.9%
基本使用水量	1,340,510立方メートル	1,344,120立方メートル	△3,610立方メートル	99.7%
特定使用水量	0立方メートル	0立方メートル	0立方メートル	0.0%
超過使用水量	48,307立方メートル	32,973立方メートル	15,334立方メートル	146.5%

(2) 事業収入に関する事項

(単位 円)

区分	本年度	前年度	差引増減
工業用水道事業収益	91,006,748	64,633,701	26,373,047
営業収益	65,702,580	64,484,970	1,217,610
営業外収益	1,431,482	148,731	1,282,751
特別利益	23,872,686	0	23,872,686

(3) 事業費に関する事項

(単位 円)

区分	本年度	前年度	差引増減
工業用水道事業費	69,217,883	42,344,989	26,872,894
営業費用	45,882,976	41,300,257	4,582,719
営業外費用	731,803	1,044,732	△312,929
特別損失	22,603,104	0	22,603,104

4. 会計

(1) 重要契約の要旨

該当事項なし

(2) 企業債及び一時借入金の概要

(イ) 企業債

(単位 円)

借入先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
財務省理財局	12,389,577	0	2,037,744	10,351,833
地方公共団体金融機構	3,823,603	0	2,119,128	1,704,475
合計	16,213,180	0	4,156,872	12,056,308

(ロ) 一時借入金

該当事項なし

(3) その他会計経理に関する重要な事項

該当事項なし



平成26年度 大津町工業用水道事業会計キャッシュ・フロー計算書  
 (平成26年4月1日から平成27年3月31日)

(単位：円)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	21,788,865
減価償却費	10,845,875
減損損失	21,950,354
賞与引当金の増加額	581,013
法定福利費引当金の増加額	105,304
長期前受金戻入額	△ 13,730,064
過年度損益修正益	△ 11,377,100
受取利息及び受取配当金	△ 45,458
支払利息及び企業債取扱諸費	731,803
未払金の増加額	903,409
小計	31,754,001
利息及び配当金の受取額	45,458
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 731,803
業務活動によるキャッシュ・フロー	31,067,656

2. 財務活動によるキャッシュ・フロー

企業債の償還による支出	△ 4,156,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,156,872

資金増加額（又は減少額）	26,910,784
資金期首残高	207,488,499
資金期末残高	234,399,283

平成26年度 大津町工業用

(1) 収益の収入  
収入(税抜)

(単位:円)

款	項	目	節	金額	備考
工業用水道 事業収益	営業収益	給水収益		91,006,748	
				65,702,580	
			水道料金	65,702,580	
			メータ使用料		水道料金に含む
	営業外収益	受取利息及び 配当金		1,431,482	
			預金利息	45,458	
		長期前受金戻入		45,458	
			長期前受金戻入	1,234,478	
		雑収益		1,234,478	
			その他雑収益	151,546	
	特別利益	長期前受金戻入		23,872,686	
			長期前受金戻入	12,495,586	
		過年度損益 修正益		12,495,586	
			過年度損益修正益	11,377,100	

水道事業会計収益費用明細書

(2) 収益の支出  
支出(税抜)

(単位:円)

款	項	目	節	金額	備考		
工業用水道 事業費	営業費用			69,217,883			
		原水費			45,882,976		
					25,165,311		
			通信運搬費		133,966		
			委託料		4,886,000		
			手数料		197,685		
			修繕費		277,000		
			動力費		19,650,530		
			材料費		0		
			用地費		20,130		
			配水及び給水費			0	
				備消耗品費		0	
				賃金		0	
			総係費			9,871,790	
		給料			4,454,973		
		職員手当等			2,703,721		
		賞与引当金繰入額			581,013		
		法定福利費			1,424,172		
		法定福利費引当金繰入額			105,304		
		旅費			79,037		
		備消耗品費			40,388		
		印刷製本費			0		
		負担金			93,000		
		使用料及び賃借料			360,000		
		保険料			30,182		
		減価償却費				10,845,875	
				有形固定資産減価償却費		10,845,875	
		資産減耗費			0		
			固定資産除却費		0		
		営業外費用			731,803		
			支払利息及び 企業取扱諸費			731,803	
				支払利息及び企業債取扱諸費		731,803	
		特別損失			22,603,104		
			減損損失			21,950,354	
				減損損失		21,950,354	
			その他特別損失			652,750	
		その他特別損失			652,750		

固 定 資 産 明 細 書

1 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初の現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	4,544,120	0	0	4,544,120
建物	17,071,478	0	0	17,071,478
構築物	226,955,520	8,887,100	21,208,850	214,633,770
機械及び装置	178,111,937	2,490,000	7,415,040	173,186,897
計	426,683,055	11,377,100	28,623,890	409,436,265

注1 建物減価償却累計額当年度増加額のうち、会計制度改正に伴う移行処理分3,730,618円

注2 構築物当年度減少額のうち、特別損失に係る減損損失分21,208,850円

注3 構築物減価償却累計額当年度増加額のうち、会計制度改正に伴う移行処理分51,405,662円

注4 機械及び装置当年度減少額のうち、特別損失に係る減損損失分7,415,040円

注5 機械及び装置減価償却累計額当年度増加額のうち、会計制度改正に伴う移行処理分52,087,385円

(単位：円)

減 価 償 却 累 計 額				年度末償却未済高	備 考
年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	累 計		
0	0	0	0	4,544,120	
2,416,021	4,037,903	0	6,453,924	10,617,554	注1
60,978,683	57,313,213	0	118,291,896	96,341,874	注2、注3
69,936,678	56,718,424	6,673,536	119,981,566	53,205,331	注4、注5
133,331,382	118,069,540	6,673,536	244,727,386	164,708,879	

企 業 債 明 細 書

1 企業債明細書

種 類	発行年月日	発行総額	償 還 高	
			当年度償還高	償還高累計
工業用水道事業債	H1. 3. 27	11,200,000	712,975	9,667,335
〃	H2. 2. 22	26,700,000	1,079,213	26,700,000
〃	H3. 3. 25	17,600,000	1,100,595	12,408,017
〃	H3. 3. 26	12,100,000	986,549	11,046,245
〃	H13. 3. 29	1,100,000	53,366	449,280
〃	H13. 6. 28	5,500,000	224,174	1,872,815
計	—	74,200,000	4,156,872	62,143,692

(単位：円)

未償還残高	発行価額	利率	償還終期	備 考
1,532,665	—	4.85%	H29. 3. 25	大蔵省資金運用部
0	—	5.50%	H26. 9. 20	公営企業金融公庫
5,191,983	—	6.60%	H31. 3. 25	大蔵省資金運用部
1,053,755	—	6.70%	H28. 3. 20	公営企業金融公庫
650,720	—	1.70%	H38. 3. 20	公営企業金融公庫
3,627,185	—	1.90%	H41. 3. 25	財務省資金運用部
12,056,308	—	—	—	—

## 注記

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

当年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表を作成している。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法

主な耐用年数

建物 50年

構築物 10年～50年

機械及び装置 5年～20年

#### (2) 引当金の計上方法

##### イ. 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

##### ロ. 退職給付引当金

職員の退職手当は、退職手当組合に対する普通負担金及び追加負担金のうちの事前納付金を除き、一般会計がその全部を負担することとなっているため退職手当引当金は計上していない。

##### ハ. 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支給及びこれに伴う法定福利費の支出のため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

##### ニ. 修繕引当金

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととしている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

### 2. みなし償却制度廃止に伴う経過措置に関する事項

平成26年度3月31日において、償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額のうち、該当資産との対応関係の把握が不可能であったものについては、現存する資産（補助金が充当されていないことが明らかな資産を除く）を対象とし、補助金充当率を用いた按分により整理している。

### 3. 減損損失に関する注記

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

場 所	用 途	種 類	金 額
熊本県菊池郡大津町大字高尾野地内	事業用資産	構築物及び機械・装置	21,950,354円

減損の兆候を認識するにあたっては、全体を一つとしてグルーピングしているが、遊休資産については、個別物件ごとにグルーピングしている。上記資産グループは遊休状態にあり、今後も使用される見込がないことから、減損の兆候を認識している。

上記資産グループは回収可能価額がゼロであり、帳簿価額全額を減損損失として計上している。